

ブラックロック・インパクト株式ファンド(愛称:ビッグ・インパクト™)

(ノーロード／限定為替ヘッジあり)／(ノーロード／為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

販売用資料

2015年9月



BIG IMPACT!

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

SBI証券

商号等：株式会社SBI証券
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号
加入協会：日本証券業協会、
一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

ブラックロック・ジャパン株式会社

商号等：ブラックロック・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

BLACKROCK®

当資料の16ページ以降に当ファンドに係る投資リスク、手数料、その他重要な事項を記載しておりますので、必ずご覧ください。

新たな投資機会の創出

インパクト投資

「社会的課題の解決」と「投資収益」を同時に追求

- ▶ 世界で急速に高まる注目度
- ▶ 株式に投資する日本で初のインパクト投資戦略による公募投信

ビッグデータ

飛躍的に増加している巨大データ群

- ▶ 世界中の膨大なデータを活用
- ▶ 最先端のテクノロジーで解析

ブラックロック

世界最大の資産運用グループの運用

- ▶ 資産運用残高：約580兆円
- ▶ 科学的アクティブ運用力を結集

当資料は、この順番に沿ってご説明いたします。

当ファンドの特色

1. 各企業の社会的インパクトに着目しながら、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業の株式ならびに株式関連商品(デリバティブ含む)等に投資します。

- ◆当ファンドは、先進国の株式を投資対象とした日本で初めてのインパクト投資戦略に基づく公募投資信託です(2015年7月 ブラックロック・ジャパン調べ)。
- ◆インパクト投資とは、社会にインパクト(教育や福祉などの社会的な課題の解決に好影響)を与える企業の株式等に投資しながら、同時に投資収益を追求する投資行動を言います(詳しくはP.3「キーワード①インパクト投資」をご覧ください)。2013年のロンドン・サミット(G8)のフォーラムにおいてインパクト投資の促進が提唱されて以降、新たな投資手法としてインパクト投資への関心、行動が世界的に高まっています。
- ◆当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行い、「BSF ブラックロック・インパクト・ワールド・エクイティ・ファンド」および「ICS インスティテューショナル・USTレジャリー・ファンド」に投資します。「BSF ブラックロック・インパクト・ワールド・エクイティ・ファンド」を主要投資対象ファンドとし、その組入比率を高位に保ちます。

2. 低コストのアクティブ運用です。

- ◆アクティブ運用とは、市場の代表的な指数を上回る運用成績を上げること为目标とする運用方法です。経済や市場動向などの投資環境やアナリストの調査分析に基づき組入れ銘柄を決定しますので、運用成績は運用者に大きく依存します。一般的に、指数に連動する運用成績を目標とするパッシブ運用(インデックス運用)と比べて多大なコストをかけて運用しますので、運用管理費用(信託報酬)は高い傾向にあります。
- ◆当ファンドはノーロード(購入時手数料なし)です。また信託報酬は実質的に年0.95944%(税込)であり、先進国株式(除く日本)に投資するアクティブ運用型ファンドの平均の年1.77%(税込)*を大きく下回っているほか、信託財産留保額(解約時等に支払う費用)もありません。

*出所：モーニングスターのデータをもとに作成。2015年6月末時点。

業界平均は、モーニングスターカテゴリー「国際株式・グローバル除く日本(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)」に属する国内公募追加型株式投信(確定拠出年金専用、ラップ口座専用、ETF除く)を対象に、投資信託協会の分類に基づくアクティブファンドの信託報酬等(監査報酬やその他費用など含む、税込)を単純平均したものです。

3. 世界最大の運用会社であるブラックロックによる運用です。

- ◆ビッグデータの分析など最新のテクノロジーを駆使したブラックロック独自の計量モデル*を活用し、社会的インパクトと投資収益の両方に着目したポートフォリオを構築します。

*計量モデルとは市場や株価の動きを計量的な分析で捉えようとするものです。大量の投資情報を活用し、リターン獲得を図るためのツールです。

4. 為替ヘッジの有無により「限定為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」があります。

- ◆「限定為替ヘッジあり」は主要投資対象ファンドにおいて、当該ファンドの純資産額を米ドル換算した額に対して米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。主要投資対象ファンドが保有する米ドル建て以外の資産については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。(また、米ドル金利が円金利より高い場合、ヘッジコストがかかります。)
- ◆「為替ヘッジなし」は実質的な外貨建資産に対して、原則として為替ヘッジを行いません。このため、為替変動の影響を受けます。

キーワード① インパクト投資

インパクト投資とは…

社会に影響(持続的な社会的インパクト)を与えることを目指す企業に着目し、同時に投資収益を追求する新しい投資の考え方です。

当ファンドが着目するテーマ・課題



健康

- ❖ 医療
- ❖ 感染症対策
- ❖ 健康管理



環境

- ❖ テクノロジーと特許
- ❖ 環境政策
- ❖ 公害削減

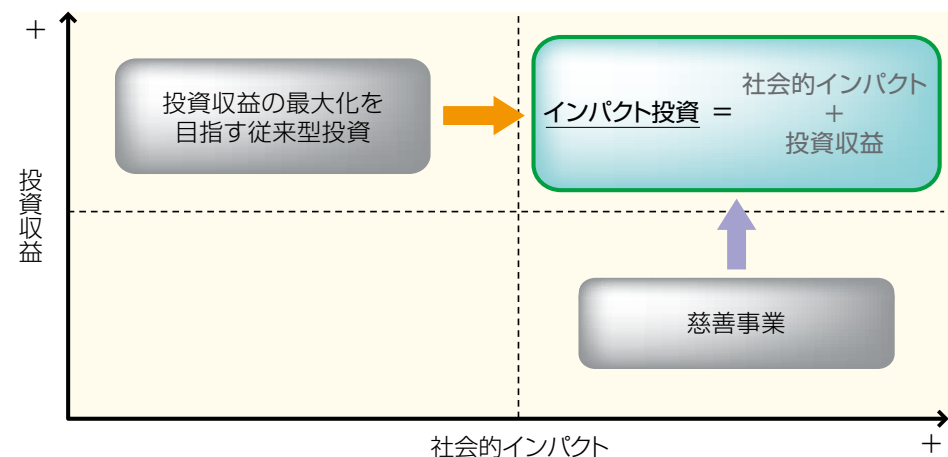


経営姿勢

- ❖ 従業員満足度
- ❖ ジェンダー政策
(女性の活躍)

※上記は当ファンドが採用する運用戦略で現在着目している社会的課題の一例であり、今後予告なく変更されることがあります。

インパクト投資のイメージ



出所：Bridge Ventures and The Parthenon Group "Investing for Impact: Case Studies Across Asset Classes" 2010をもとにブラックロックが作成



～インパクト投資とSRI(社会的責任投資)の違い～

SRI(社会的責任投資)では一般的にネガティブスクリーニング(銘柄排除)により投資銘柄の選定が行われる事が多いのに対し、インパクト投資では銘柄排除に留まらず、特定の社会的課題の解決を目指す企業に投資をしながら、投資収益性の高いポートフォリオの構築を目指す点が違いの一つだと言えます。

キーワード① インパクト投資

社会的インパクトとは？



健康



環境



経営姿勢



MORE

疾病研究
の強化



MORE

環境保全への
取組みの強化



LESS

より少ない
訴訟の可能性



FEWER

より少ない
非道徳的な企業活動



BETTER

企業文化
の向上

出所：ブラックロック

※上記は当ファンドが採用する運用戦略で資料作成時点で着目している社会的課題の一例であり、今後予告なく変更されることがあります。

キーワード① インパクト投資

社会的インパクトの計測例



MORE

疾病研究の強化

社会への貢献度が高い治療法を研究する企業を発掘するために、
世界保健機関(WHO)及び米国国立衛生研究所(NIH)のデータを活用



1. データ収集

WHOによる疾病負荷*1及びNIHの
臨床試験データ・ベースを収集。



2. 分析

病気、障害、死亡による各疾病をスコ
ア化するために障害調整生存年数
(DALY)*2を利用。



3. ランキング

世界の企業を臨床研究のDALY
スコアに基づきランキング。



4. モニタリング

どれだけの臨床研究が治験を経て
認可されるのかをモニタリング。

*1 世界中で疾病により失われた生命や生活の質の総合計

*2 疾病により失われた生命や生活の質を包括的に測定するための指標

出所：ブラックロック、一般社団法人日本国際保健医療学会 国際保健用語集

キーワード① インパクト投資

加速するインパクト投資

2007年	インパクト投資という言葉が初めて提唱される イタリアで開催されたロックフェラー財団の会議で「インパクトインベストメント」という言葉が初めて使用される。 ^{*1}
2013年	G8サミットでのフォーラム開催 主催国イギリスのキャメロン首相が「ソーシャル・インパクト・インベストメント・フォーラム」を開催し、世界的に注目され、G8インパクト投資タスクフォースが設立される。 ^{*2}
	世界の市場規模は約360億米ドルへ(約4.4兆円) ^{*3}
2014年	日本での市場規模は約250億円へ 2011年の東日本大震災後、民間セクターでインパクト投資に対する関心が高まり、投資額は2014年までの過去2-3年で大幅に増加 ^{*4}
2015年	日本にて社会的インパクト投資シンポジウム開催 Forbes Japan 2015年8月号巻頭特集で、タスクフォース議長のインタビューやシンポジウムの様子が取り上げられる。
2020年	世界の市場規模は最大1兆米ドル(約122兆円)へと成長が期待される ^{*5}

*1 : The Rockefeller Foundation (2012). "Accelerating Impact: Achievements, Challenges and What's Next in Building the Impact Investment Industry".

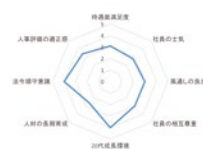
*2 : G8 Social Impact Investment Taskforce (2014) Measuring Impact, Subject Paper of the Impact Measurement Working Group

*3 : Cabinet office (2013) G8 Social Impact Investment Forum

*4 : Japan Impact Investment Task Force. "The Social Impact Investment Landscape in Japan 日本におけるインパクト投資の現状"

*5 : The Rockefeller Foundation, J.P. Morgan and GIIN, 2010, "Impact Investments: An emerging asset class"
円換算レート:1米ドル=122.365円(2015年6月末)

投資アイデアの例：従業員満足度



経営姿勢

社会的インパクトの例として企業文化の向上が上げられます。その中で、経営姿勢(マネジメントの質、企業文化、キャリアアップの機会など)を測る投資アイデアとして従業員満足度があります。

ビッグデータ

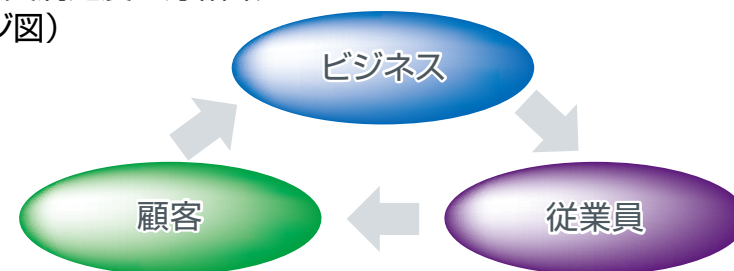
ソーシャル・メディアにおける匿名の企業評価等(ビッグデータ)を分析し、従業員満足度の測定に活用します。



投資収益

また、従業員満足度が高い企業は生産性が高い傾向にあると考えます。

高い従業員満足度の好循環 (イメージ図)



出所：ブラックロック

キーワード② ビッグデータの活用

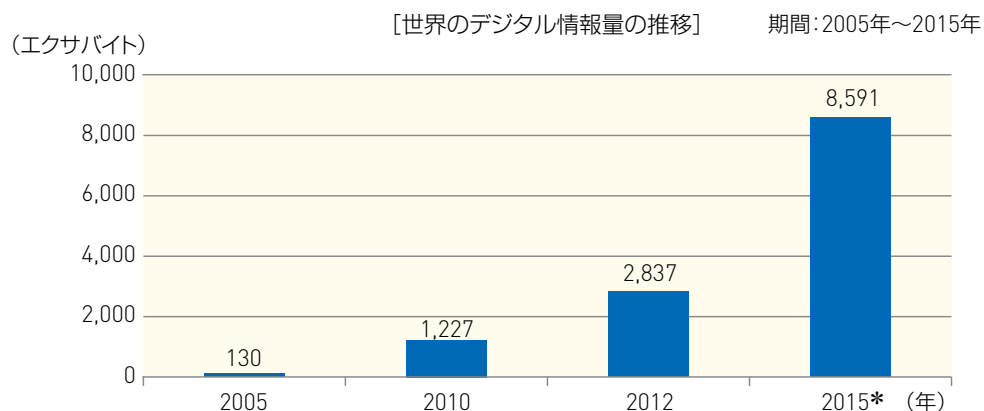
ビッグデータの活用例

飛躍的に情報量が拡大している現代においてこそ、ビッグデータを活用することに意味があると考えます。

アナリストレポートは、企業の状況を把握することに役立つ情報ですが、日々大量に発行されるため全てのレポートを丁寧に読み込むには相当の時間と労力がかかります。そこで、『テキスト・マイニング』という手法で文字情報としてデータを処理し、アナリストレーティングにあらわれない、文章に込められたニュアンスまで分析するよう取り組んでいます。ブラックロックでは日本語・英語・中国語に対応し、大量のレポートを活用した企業分析を行っています。

世界のデジタル情報量の推移

(ご参考)世界のデジタル情報量は拡大の見込み



出所：International Data Corporation

*2015年は予測

※世界のデジタル情報量：世界で生成あるいは複製されたデジタル情報の総量。金融情報に限らず、あらゆる分野の情報を含みます。

※エクサバイトとは、百京バイトのことで、 10^{18} (1,000,000,000,000,000,000)バイトとなります。

(ご参考)投資魅力度分析のイメージ

検索エンジンを活用した銘柄評価のイメージ

インターネットでのキーワード検索件数などのビッグデータを用いて、経済動向をいち早く察知し、企業の魅力度評価に活用します。

■ 検索されるキーワード？

検索エンジンにおいて、どのようなキーワードが検索されているかを分析します。

■ 検索される件数の変化？

例えばある国の検索エンジンにおいて「自動車」「耐久財」「住宅」など経済動向に関連したキーワードの検索数が増加した事実等を総合的に分析することで、その国の市場心理をいち早く察知し、銘柄の評価に活用します。



決算発表時期における企業の魅力度評価のイメージ

専任の情報アナリストが決算発表時期における社長や役員の発言を文字情報化し、企業の魅力度評価に活用します。

■ 誰が、何を、どのように？

文字情報化された決算発表の発言を、さまざまな観点から点数化(スコアリング)します。

- 誰の発言？…財務担当より社長は概してポジティブな発言が多いため、割り引いて評価。
 - ポジティブ／ネガティブな語句の数・割合…ポジティブな語句の割合が多い場合、点数が高い。ネガティブな語句の割合が多い場合、点数が低い。
 - 発言は明確か、曖昧か？…明確な場合、点数が高い。曖昧な場合、点数が低い。 等々
- 一般的には定量化することが困難とされる内容も、文字情報化を活用することにより実現可能にします。



※上記は、投資魅力度分析をご理解いただくためにイメージを示したものです。当ファンドでは、市場動向によって評価基準のウェイト等をコントロールするため、事例でご紹介する投資魅力度分析を恒常的に利用するものとは限りません。

キーワード③ ブラックロック

■ブラックロック・グループは、2015年6月末現在、運用資産残高約4.72兆米ドル(約578兆円^{*1})を持つ世界最大の独立系資産運用グループであり、ブラックロック・ジャパン株式会社は当グループの日本法人です。

■グループ本社をニューヨークに置き、世界28の運用拠点^{*2}を中心に運用プロフェッショナル1,800名超^{*2}を配置しています。また、世界30カ国以上に配置された社員数は12,000名超に上り、資産運用関連の幅広いビジネスを展開しています。

*1 円換算レート:1米ドル=122.365円(2015年6月末)、*2 2015年3月末現在

世界の運用機関資産残高ランキング

順位	運用会社	資産残高 (兆円)
1	ブラックロック	454.5
2	ヴァンガード・グループ	289.3
3	アリアンツ・グループ	251.5
4	ステート・ストリート・グローバル	246.4
5	フィデリティ・インベストメンツ	227.0
6	J.P.モルガン・チェース	168.4
7	バンク・オブ・ニューヨーク・メロン	166.4
8	AXAグループ	161.0
9	キャピタル・グループ	140.7
10	BNPパリバ	139.3

出所:Pensions & Investments "WORLD'S LARGEST MONEY MANAGERS" as of Dec. 31, 2013
ブラックロック資産残高円換算レート:1米ドル=105.105円(WMロイター、2013年12月末時点)

注意事項:このランキングは、2013年12月31日現在のグローバルの資産運用残高4.32兆米ドルに基づいて作成されたものです。このランキング情報は2014年11月10日発行の紙面に掲載されており、さらにwww.pionline.com/specialreportsからご覧頂けます。ランキングに関する情報の転載は許可が必要です。Pensions & Investments. copyright.

ブラックロックの幅広いビジネス

伝統的資産運用

計量分析やファンダメンタル分析のアプローチに基づいて、パッシブ運用からアクティブ運用まで幅広く資産運用サービスを提供しています。

非伝統的資産運用

非伝統的資産運用の分野でも大手の一角を占めています。

①不動産、②ヘッジファンド、③プライベート・エクイティ等

ETF

iShares®のブランドのもと、759本、11,000億米ドルのETFを運用しています。

純資産残高で、世界のETF市場における36.9%のトップシェアを有します。

(2015年7月末現在)

科学的アクティブ運用体制

約3,700銘柄×24時間

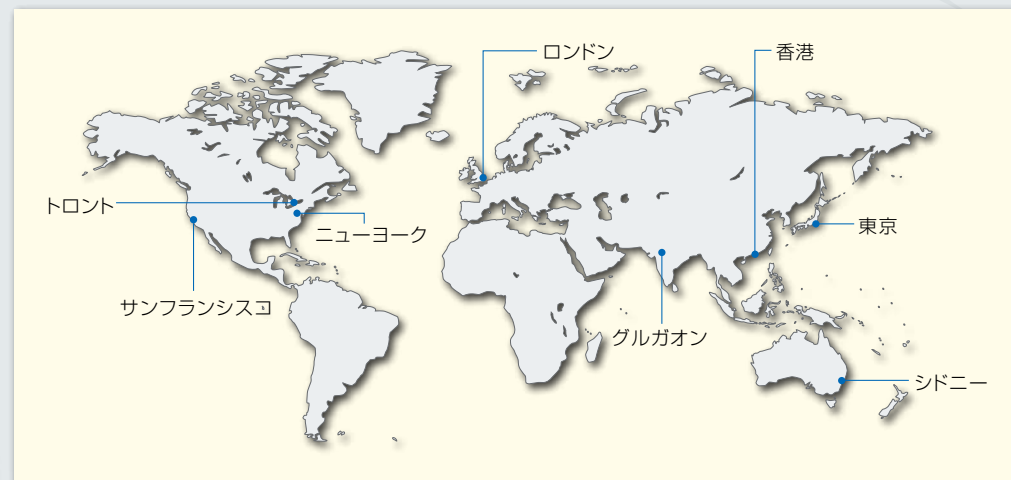
▶幅広い銘柄を投資対象に常に最新の情報を取得

世界の先進国25カ国を中心に約3,700銘柄を投資対象とします。各投資対象ファンドの運用チームが所属する科学的アクティブ運用部門は、世界8都市に拠点を有し、世界中の膨大なデータから銘柄の評価に活用する“有益な情報”を24時間常時収集し、最新のデータベースを構築します。情報のデータベース化にあたっては、専任の情報アナリストが情報を精査・入力し、信憑性の高い基礎データを構築します。

投資対象ファンドの運用体制(2015年6月末時点)

科学的アクティブ運用部門は、サンフランシスコを本拠地とし、ニューヨーク、ロンドン、シドニー、香港、東京、トロント、グルガオンにオフィスを持っています。さらに、科学的アクティブ運用部門は、世界のブラックロック運用チームから投資アイデアなどの提供を受けます。

科学的アクティブ運用部門の拠点(2015年6月末時点)



科学的アクティブ運用部門の運用実績

他社の平均的な運用実績を上回った割合

1年	3年	5年
85%	95%	96%

上記は、ブラックロック・グループの科学的アクティブ運用部門が運用するファンド等の運用報酬控除前の運用実績が、他社の平均的な運用実績を上回ったファンド等の割合を示したものです。2015年6月末時点。

※上記は過去の運用実績であり、当ファンドならびに今後の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。データに関しては、アクティブ運用とパッシブ運用両方のデータを含んでおり、米運用会社、欧州籍公募投信、セパレートアカウント、富裕層アカウントの5月末時点のデータも含まれます。6月末時点で償還となったアカウントなどのデータは含まれておらず、それらのデータを含んだ場合は、数値が変更となる可能性があります。

出所：ブラックロックIR資料、Lipper Inc.、モーニングスター

科学的アクティブ運用部門

ファンド運用および運用手法の開発を担当

8拠点 メンバーが常駐する拠点数

約80名 運用者の人数

約30名 博士号保有者の人数

外部の 情報提供会社

- ビッグデータ等を提供
- 売買動向や資金フロー等の公開情報を提供
- ...

リスク・クオンツ 分析部門

リスク管理
の観点から
サポート

世界の運用チーム

投資アイデアの分析・
提供など

世界の
運用プロフェッショナル
約1,900名

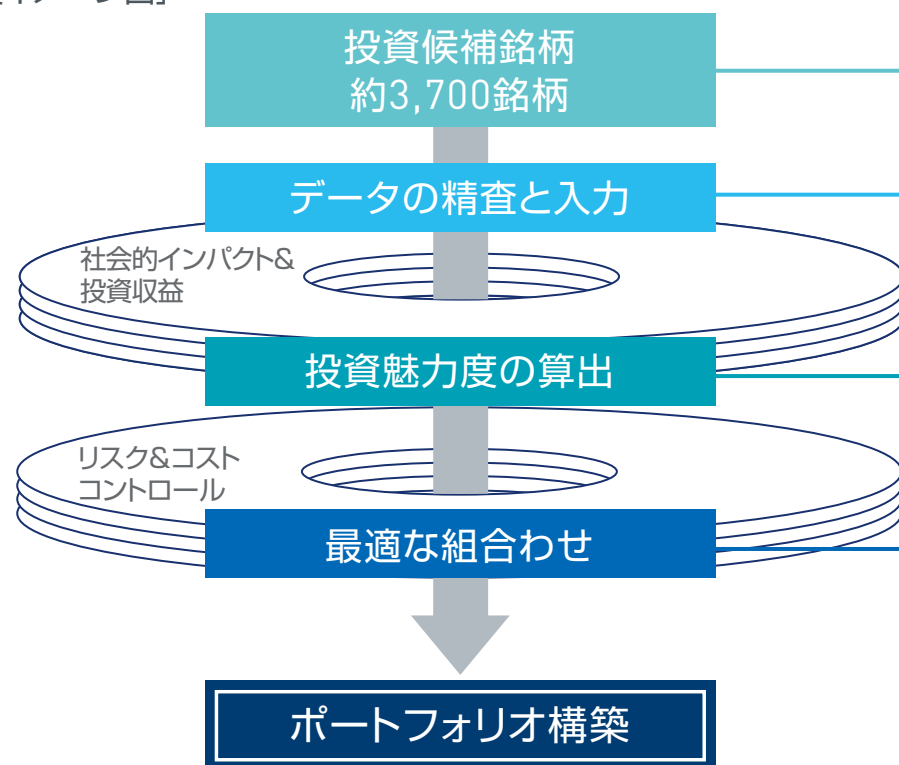
ブラックロック・ ソリューションズ

運用業務を
支援するための
システム開発など

運用プロセス

独自の計量モデルの活用に加え、ビッグデータ分析などの最新テクノロジーを駆使しながら、社会的インパクトと投資収益の両方に着目したポートフォリオを構築します。

【イメージ図】



(200～800銘柄に分散投資します。)

投資候補銘柄

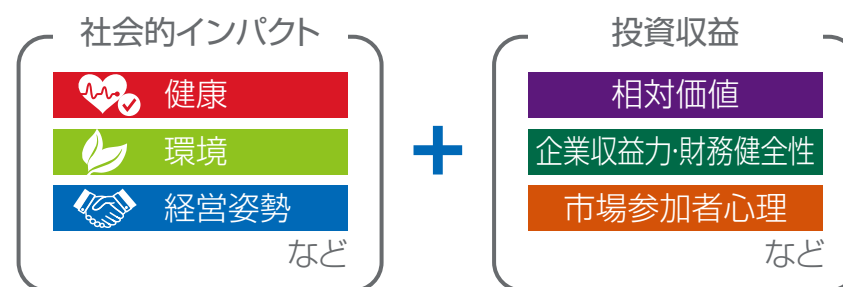
▶ 世界8都市の拠点で“有益な情報”を24時間常時収集し、データの正確性や流動性について一定のスクリーニングを行ったうえで、先進国25カ国を中心に約3,700銘柄を投資対象にしています。

銘柄情報の精査と入力

▶ ブラックロックのグローバルな情報網を活用し、各銘柄に関する大量のデータを精査して入力します。

投資魅力度の算出

▶ 多面的な評価基準に基づいて全銘柄の投資魅力度(社会的インパクト及び投資収益)を算出し、順位付けします。

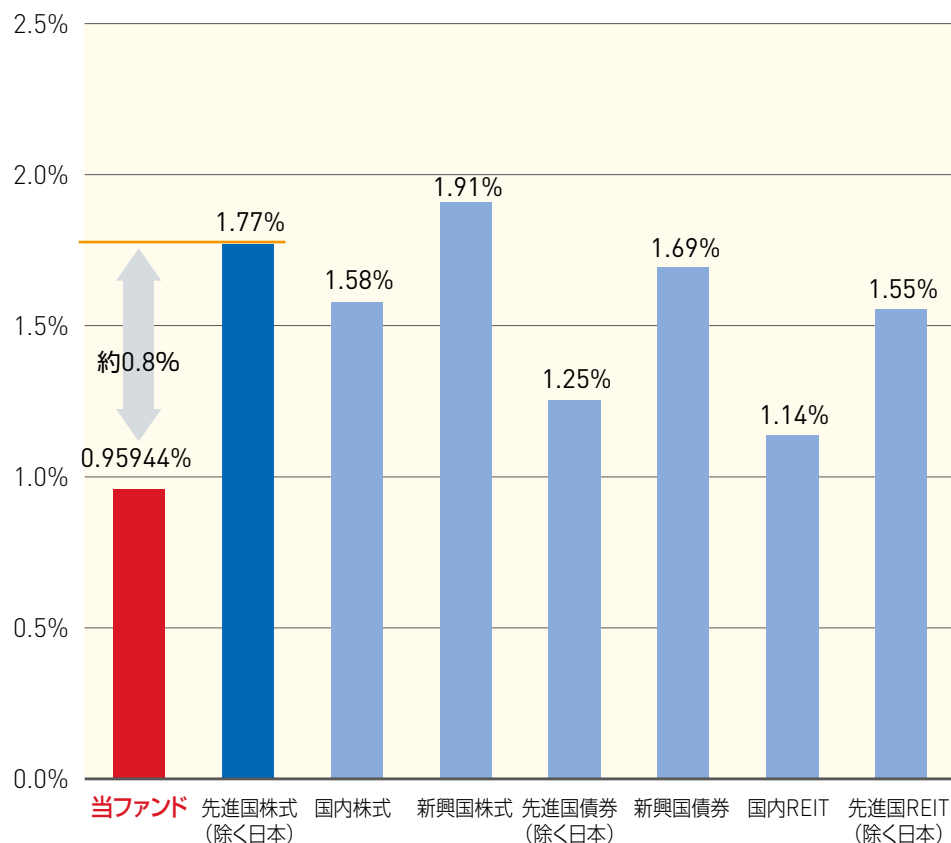


■ 市場環境に応じた、リスクやコスト等を考慮して最適な組み合わせを決定します。

- ※ 上記の投資候補銘柄数は、今後変更になる可能性があります。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
- ※ 主要投資対象ファンドの運用プロセスは変更となる場合があります。

低コスト

業界平均の信託報酬との比較

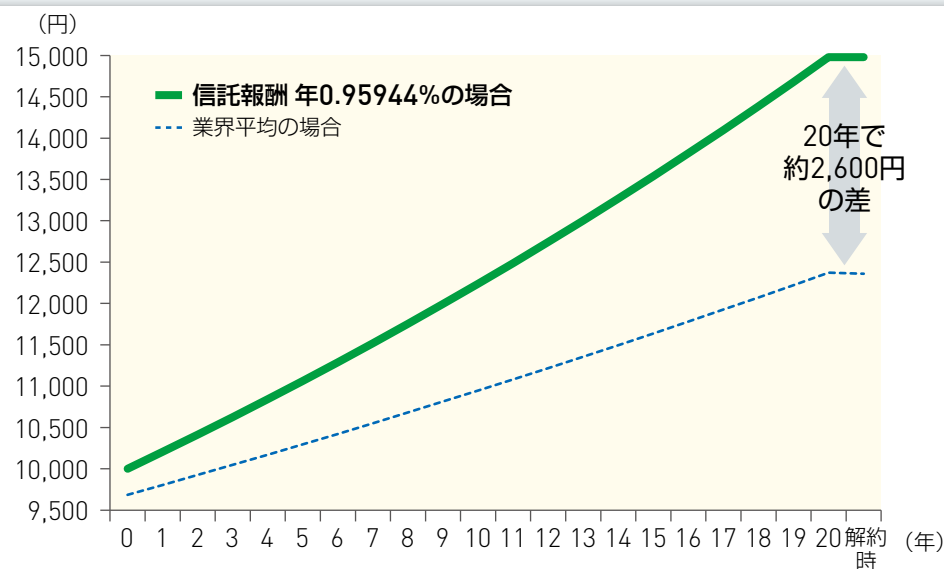


出所：モーニングスターのデータをもとに作成。2015年6月末時点。
 業界平均は、国内公募追加型株式投信(確定拠出年金専用、ラップ口座専用、ETF除く)を対象に、投資信託協会の分類に基づくアクティブファンドの信託報酬等(監査報酬やその他費用など含む、税込)を、モーニングスターカテゴリーに基づき算出したものです。

コストが投資収益に与える影響

信託報酬控除前の運用利回りを年3%と仮定、基準価額が10,000円でスタートした場合に、一般的な先進国株式(除く日本)のアクティブファンドと当ファンドでのトータルコストの比較。

	販売手数料	信託報酬等	信託財産留保額
当ファンド	0%	0.95944%	0%
業界平均	3.15%	1.77%	0.11%

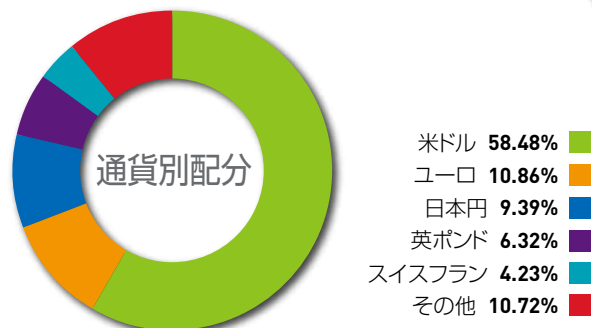
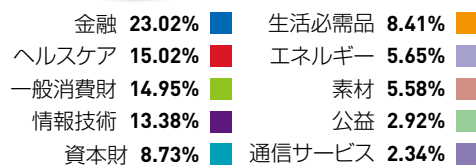
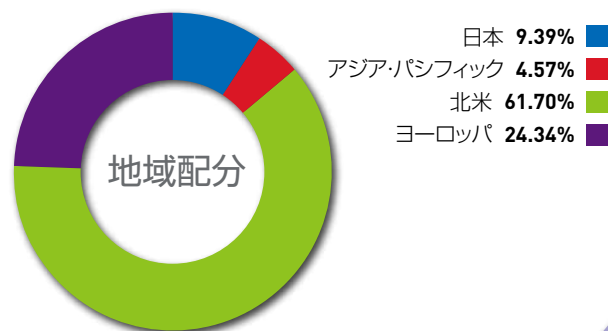


出所：モーニングスターのデータをもとに作成。2015年6月末時点。
 業界平均は、モーニングスターカテゴリー「国際株式:グローバル(除く日本(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし))」に属する国内公募追加型株式投信(確定拠出年金専用、ラップ口座専用、ETF除く)を対象に、投資信託協会の分類に基づくアクティブファンドの信託報酬等(監査報酬やその他費用など含む、税込)を単純平均したものです。
 ※上記はイメージ図であり、当ファンドの運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

主要投資対象ファンドのポートフォリオの状況 (2015年8月20日時点)

	主要投資対象ファンド	世界株式
銘柄数	513	1,643

*主要投資対象ファンドは、BSF ブラックロック・インパクト・ワールド・エクイティ・ファンドです。



出所:ブルームバーグ、ブラックロック 2015年8月20日時点

世界株式はMSCIワールドインデックスを使用

※上記は主要投資対象ファンドの2015年8月20日時点のポートフォリオの状況であり、将来のポートフォリオを予測あるいは保証するものではありません。

※比率は、純資産総額から現預金を除いて計算しています。

モデルポートフォリオにおける社会的インパクトの評価基準の一例



健康

研究によって長寿や死亡率の低下に貢献する企業が多い傾向にあります。



当戦略

>



世界株式



環境

環境問題の改善などに貢献する特許申請件数は多い傾向にあります。



当戦略

>



世界株式



経営姿勢

企業に対する訴訟件数は少ない傾向にあります。



当戦略

<

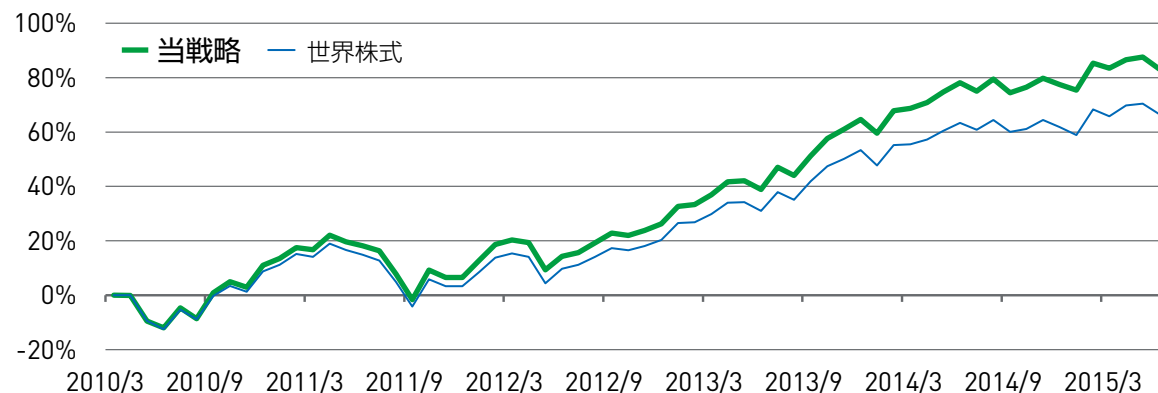


世界株式

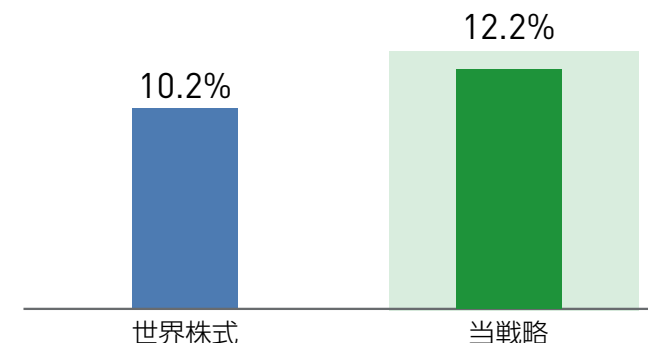
(注) 上記は過去の実績であり、将来を保証するものではありません。上記はモデルポートフォリオにおける社会的インパクトの傾向の一例を示したものであり、すべてを表すものではなく、上記以外の要因もあります。ポートフォリオ構築に当たっては、上記以外の要因も考慮されます。

出所: ブラックロック

(ご参考) バックテスト(米ドル建て)



トータル・リターン(運用報酬控除前)(年率換算)



当戦略(バックテスト)

2015年6月末現在	過去1年	過去3年	過去5年	バックテスト開始以来
リターン(報酬等控除前 年率)	2.83%	17.03%	15.78%	12.22%
リスク	8.18%	8.52%	13.54%	14.12%

世界株式

2015年6月末現在	過去1年	過去3年	過去5年	バックテスト開始以来
リターン	1.93%	14.90%	13.73%	10.20%
リスク	8.53%	8.59%	13.17%	13.79%

※上記はシミュレーションであり、当ファンドの将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

- ・上記の運用パフォーマンスイメージのグラフは、当ファンドの主要投資対象ファンドの投資顧問会社であるBlackRock Investment Management LLC提供の過去のデータに基づいて算出したバックテスト結果(当該期間2010年4月から2015年6月)を用いてブラックロック・ジャパンが作成したものであり、その期間にどのようなパフォーマンスを示したかを試算するもので当ファンドの運用結果ではありません。
- ・バックテストしたパフォーマンスに関する情報は、純粋に仮定に基づくもので、情報提供のみを目的としています。また、上記に示したバックテストの結果は、仮定に応じて大きく変わります。バックテストしたパフォーマンスは、当該期間において主要投資対象ファンドが存在していなかったことから、実際のパフォーマンスを示すものではないことにご留意ください。また、過去のパフォーマンスは将来の運用結果を示唆・保証するものではないため、実際の運用において同様のリターンが得られるとも限りません。
- ・上記内容は下記の「バックテスト前提条件」に記載の各条件に基づき試算されたもので、実際の運用において必ずすべての条件を常に満たすことができることを保証するものではありません。また、上記内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

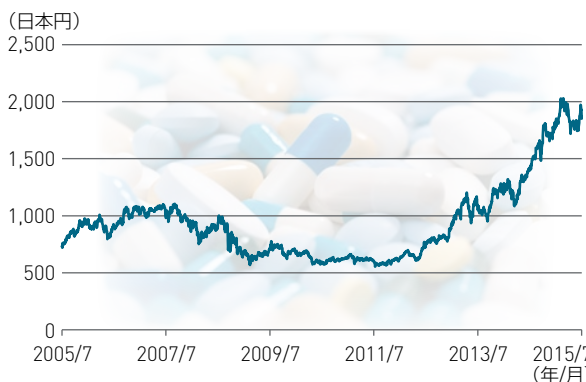
【バックテスト前提条件】

期間：2010年4月から2015年6月

※バックテストに際しては、①銘柄入替を一月に一度実施、②想定される取引コストを考慮、を前提に算出しています。ただし、信託報酬や税金等のその他のコストは考慮していません。社会的インパクト評価基準および投資収益評価基準の組み合わせ比率を一定に保ち、想定アクティブ・リターン(1~3%)および想定アクティブ・リスク(1~3%)を前提にポートフォリオのリスクを加味し、アクティブ・リターンが最大になる様に最適化をかけてリバランスを行いました。世界株式はMSCIワールドインデックスを使用。2010年4月を基準時点としたパフォーマンスを記載しています。

出所：ブルームバーグ、ブラックロック

(ご参考)組入候補銘柄①

企業名	アップル	アステラス製薬	H&Mグループ
国/セクター	米国/情報技術	日本/ヘルスケア	スウェーデン/一般消費財
企業概要と注目点	アップル(Apple, Inc.)は、パソコンメーカーです。パソコンおよび関連製品と移動通信機器、各種関連ソフトウェア、サービス、周辺機器、ネットワーキングソリューションのデザイン、製造、販売を手掛けます。製品は、オンラインストア、自社小売店、自社販売員、サードパーティ卸売り、再販業者を通して販売しています。	アステラス製薬は、泌尿器系治療分野及び器官移植や感染症、腫瘍、神経科学、糖尿病合併症、代謝性疾患を含んだ免疫治療分野に取り組む製薬会社です。全世界17,000人を超える従業員と共に同社は、米国、欧州、アジアの子会社を通じその処方箋の研究開発、製造、販売促進を行っています。	ヘネス&モーリッツ(Hennes&Mauritz AB (H&M))は衣料品販売会社。婦人服、紳士服、子供服、化粧品、下着、靴下、アクセサリーの設計販売に従事しています。多くの欧州諸国と米国に店舗を所有し、北欧では通販販売も手掛けており、ブランド名はHennes、BiB、Contemporary、Conwell、L.O.G.G.、Rocky など。
株価の推移	 (米ドル) 140 120 100 80 60 40 20 0 2005/7 2007/7 2009/7 2011/7 2013/7 2015/7 (年/月)	 (日本円) 2,500 2,000 1,500 1,000 500 0 2005/7 2007/7 2009/7 2011/7 2013/7 2015/7 (年/月)	 (スウェーデン・クローナ) 400 350 300 250 200 150 100 50 0 2005/7 2007/7 2009/7 2011/7 2013/7 2015/7 (年/月)

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の銘柄の推奨を目的とするものではありません。また、資料作成時のスコアリングをもとに抽出した銘柄紹介であり、実際の投資行動を保証するものではありません。

出所：ブルームバーグをもとにブラックロック作成 株価推移期間：2005年7月末～2015年7月末

(ご参考)組入候補銘柄②

企業名	LVMH モエ ヘネシー・ルイヴィトン	東京ガス	カナダロイヤル銀行
国/セクター	フランス/一般消費財	日本/公益	カナダ/金融
企業概要と注目点	LVMH モエ ヘネシー・ルイヴィトン(LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton SE)は、シャンパンやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類など多角化した高級品の製造・販売を手掛けます。	東京ガス(東京瓦斯)は、液化天然ガスの生産と、東京およびその周辺地域への供給事業に従事しており、ガス供給設備の保守管理、ガス空調設備の販売などを手がけているほか発電事業にも従事しています。	カナダロイヤル銀行(Royal Bank of Canada)は総合金融サービス会社です。個人および商業を対象とする銀行業務、資産管理サービス、保険、法人・投資銀行業務、送金決済処理サービスなどを手掛けます。個人、ビジネス、公共セクターや機関顧客を対象に、世界で事業を展開しています。
株価の推移	(ユーロ) 2005/7 2007/7 2009/7 2011/7 2013/7 2015/7 (年/月)	(日本円) 2005/7 2007/7 2009/7 2011/7 2013/7 2015/7 (年/月)	(カナダドル) 2005/7 2007/7 2009/7 2011/7 2013/7 2015/7 (年/月)

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の銘柄の推奨を目的とするものではありません。また、資料作成時のスコアリングをもとに抽出した銘柄紹介であり、実際の投資行動を保証するものではありません。

出所：ブルームバーグをもとにブラックロック作成 株価推移期間：2005年7月末～2015年7月末

投資リスクとファンドの仕組み①

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

■株価変動リスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、世界の株式に投資します。したがって、世界の経済および株式市場動向または株式の発行会社の経営・財務状況等に依りて組入株式の株価および配当金が増減し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■為替変動リスク

当ファンドは実質的に外貨建資産に投資を行います。

（限定為替ヘッジあり）

「限定為替ヘッジあり」は、原則として主要投資対象ファンドにおいて米ドルに対する為替ヘッジを行います。投資対象資産および投資対象資産から生じる収益の全てを完全にヘッジすることはできません。また、主要投資対象ファンドは米ドル以外の通貨建てで投資を行う場合があります。その場合、当該通貨については原則として為替ヘッジを行いません。したがって、米ドルに対する当該通貨の為替レートの変動が、間接的に当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、米ドル金利が円金利より高い場合、ヘッジコストがかかります。

（為替ヘッジなし）

「為替ヘッジなし」は、原則として実質的な外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■中小型株式投資のリスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、株式市場平均に比べ株式時価総額の小さな企業の株式にも投資することができます。これらの企業の株式への投資は、株式市場の全体の平均に比べて結果としてより大きな値上がりもしくは値下がりとなる可能性があります。これは比較的規模の小さい企業は大規模の企業に比べ収益の変動が大きくなる傾向があることに加え、株式市場における需給関係の変動の影響を受けやすいためです。

投資リスクとファンドの仕組み②

■カントリー・リスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、世界各国の株式に投資します。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、有価証券の価格が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■債券投資のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、債券へも投資を行います。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■デリバティブ取引のリスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響から当ファンドの投資対象ファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

その他の留意点

◆当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

◆収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本のことで、投資者毎に異なります。

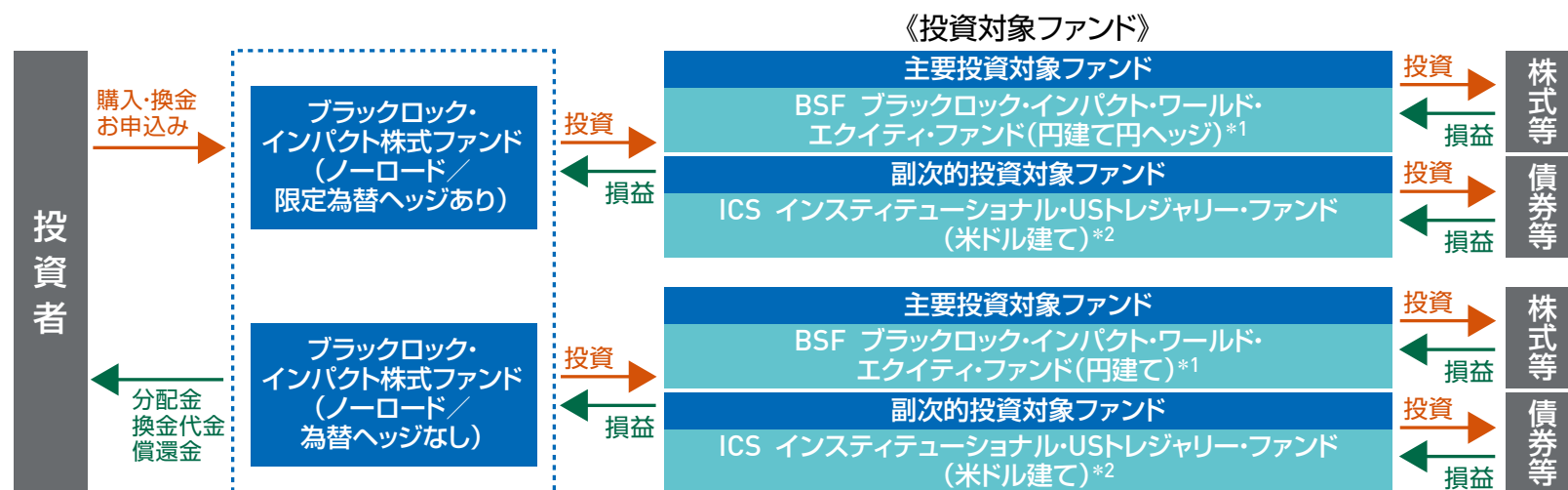
投資リスクとファンドの仕組み③

リスクの管理体制

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行うことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内の関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

ファンドの仕組み

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。



*1 正式名称は、「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・インパクト・ワールド・エクイティ・ファンド クラスI投資証券(円建て円ヘッジまたは円建て)」です。

*2 正式名称は、「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc インスティテューショナル・USTレジャリー・ファンド エージェントクラス投資証券(米ドル建て)」です。

※投資対象ファンドは、委託会社の判断により適宜見直しを行うことがあります。

お申込みメモ

購入単位	分配金の受取方法により、＜一般コース＞と＜累積投資コース＞の2つのコースがあります。購入単位および取扱いコースは、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
購入価額	①当初申込期間:1口当り1円 ②継続申込期間:購入受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	換金単位は、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金代金は原則として、換金受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	午後3時までに受付けたものを当日のお申込みとします。ただし、受付時間は販売会社により異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
購入の申込期間	①当初申込期間:平成27年9月14日から平成27年9月29日まで ②継続申込期間:平成27年9月30日から平成28年12月20日まで ※期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	大口の換金の申込には制限を設ける場合があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
購入・換金申込受付不可日	ルクセンブルグの銀行の休業日、12月24日、その他主要投資対象ファンドの受付不可日のいずれかに該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入・換金は受付けません。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の受付を中止・取消しする場合があります。
信託期間	無期限(設定日:平成27年9月30日)
繰上償還	ファンドは、換金により各ファンドの受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合、またはファンドを償還させることが投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間の途中でも信託を終了(繰上償還)させる場合があります。
決算日	9月20日(ただし休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 ＜累積投資コース＞を選択された場合の収益分配金は、税引き後自動的に無手数料で再投資されます。
信託金の限度額	信託金の限度額は、各ファンド5,000億円とします。 ※当ファンドの運用戦略に適した運用規模・運用効率を勘案し、市場環境や資金流入の動向に応じて信託金の限度額を下回る段階で購入申込の受付を停止する場合があります。
公告	投資者に対してする公告は、電子公告により次のアドレスに掲載します。 www.blackrock.com/jp/
運用報告書	毎決算時および償還時に、委託会社が期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「交付運用報告書」を作成し、ご購入いただいた販売会社からあらかじめお申し出いただいた方法にて知れている受益者にお届けいたします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除または益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用・税金①

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

(各費用の詳細)

運用管理費用 (信託報酬)	【実質的な負担】 ファンドの実質的な運用管理費用(A+B)は、ファンドの純資産総額に対して年0.95944%(税抜0.918%)程度となります。			—
	(A)ファンドの純資産総額に対して年0.55944%(税抜0.518%)の率を乗じて得た額 ※運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末、または信託終了のときファンドから支払われます。			運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率
	運用管理費用の配分	(委託会社)	年0.0540%(税抜0.05%)	ファンドの運用、基準価額の計算、運用報告書等各種書類の作成等の対価
		(販売会社)	年0.4860%(税抜0.45%)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
		(受託会社)	年0.01944%(税抜0.018%)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
	(B)主要投資対象ファンドの運用管理費用(投資対象ファンドから支払われます。) 年0.40%			—
その他の費用・手数料	目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、ファンドの純資産総額の年0.108%(税抜0.10%)を上限として、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末、または信託終了のときファンドから支払うことができます。 ファンドの諸経費、外貨建資産の保管費用等について、その都度、ファンドから支払われます。 また、主要投資対象ファンドに係る保管報酬および事務処理に要する諸費用等並びに副次的投資対象ファンドの報酬等が別途投資対象ファンドから支払われます。 ※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。			●ファンドの諸経費：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息等 ●外貨建資産の保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。

ファンドの費用・税金②

税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税されます。 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税されます。 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円(平成28年以降は年間120万円)の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、平成28年4月より20歳未満の方がご利用になれる「ジュニアNISA」が開始される予定です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※法人の場合は上記とは異なります。

※上記は2015年6月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社、その他の関係法人の概況

委託会社：ブラックロック・ジャパン株式会社
(信託財産の運用の指図等を行います。)

受託会社：みずほ信託銀行株式会社
(ファンドの財産の保管および管理を行なう者)

販売会社：(受益権の募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(交付目論見書)の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。)

本資料に関してご留意いただきたい事項／ 本資料で使用したデータの著作権等について

本資料に関してご留意いただきたい事項

お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の内容をご確認ください。

- 本資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した販売用資料です。
- 当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。
- 当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。
- 当ファンドを取得される場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料はブラックロック・ジャパン株式会社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

本資料で使用したデータの著作権等について

MSCIワールドインデックスは、MSCI Inc.が開発、計算した株式指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。